取扱説明書　　日立リビングサプライ

保証書付　保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。「お買い上げ日･販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

デジタルオーディオプレーヤー

HMP-X934形

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

目次

はじめに

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
安全のため必ずお守りください。

絵表示について

製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

⃠ 記号は、「してはいけないこと(禁止事項)」を示しています。

❗ 記号は、「しなければならないこと(強制事項)」を示しています。

警告

■ 分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因になります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 異常が起きたら、パソコンまたはUSBケーブルから本機を取り外す

指示

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買い上げ店にご相談ください。

■ 運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない

禁止

水・異物が内部に入ったら、使用しないでください。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
●お買い上げ店にご相談ください。

■ 水がかかる場所で使用しない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

■ 風呂場・シャワー室で使用しない

水場禁止

火災・感電の原因になります。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。
自動車、オートバイ、または自転車などを運転中には絶対に使用しないでください。運転中に使用すると、交通事故の原因になります。
運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。

■ 置き場所に注意する

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因になります。また、窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因になります。

■ 火に近づけたり、火の中に投げ込まない

禁止

破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

■ お子様の手の届かないところで使用・保管する

指示

乳幼児が誤って本機や付属品を飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

■ 本体やUSB端子を布団などで覆った状態で使わない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

■ コネクタ(端子)部には、指定以外のものを接続しない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■ 飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない

禁止

事故の原因になることがあります。

■ 音量の調節に注意する

禁止

はじめから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■ 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■ 異常な高温になる場所に置かない

禁止

暖房器具に近いホットカーペットの上、窓を閉め切った自動車の中や直接日光に当たる場所に置かないでください。
火災・破損・変形など故障の原因になることがあります。

■ 本機の上にものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

■ 本機をストラップで下げている、および付属のクリップで装着している場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する

指示

けがや本体の故障の原因になることがあります。

■ ストラップの取り扱いに注意する

指示

首などが絞まりすぎないように、ストラップの取り扱いにはご注意ください。

あらかじめご承知いただきたいこと

免責事項

- 本製品およびパソコンの不具合によって音楽ファイルや記録されているデータが破損、または消去された場合のデータの補償に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品のご使用によって生じたその他の機器やソフトの損害に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品のご使用、または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、中断を含む）に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

- 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したデータを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）にお尋ねください。
  （JASRAC本部：TEL.03-3481-2121）

商標について

- Windowsは、Microsoft Windows operating systemの略称です。
- Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中にTM、Rはマーク明記しておりません。

使用上のご注意

大切な録音や再生は事前に確認を

大切な録音や再生の場合は、正常に録音や再生ができることを必ず事前に確認してください。

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0～40℃（結露しない状態）です。
温度差の大きい場所へ急激に移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な再生ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。
温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませた後、袋から取り出してください。
また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電源をオフにして、水滴が消えるまで待ってから、ご使用ください。

本書について

- 本書に記載している表示画面の表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- 本製品に関するお問い合わせ、およびサポート、カタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。
- 本書に記載している外観および仕様は、製品改良のために予告なく変更することがあります。

お手入れ

やわらかい布でからぶきしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりすると、変質、変色することがありますので使用しないでください。

バッテリーについて

- 本機に内蔵のバッテリーは、リチウムポリマー充電池を使用しています。詳しくは、「バッテリーについて」の注意(→P.16)をご覧ください。

主な特長

4GB内蔵メモリ搭載

●HMP-X934は4GBのフラッシュメモリを内蔵しています。
●128kbpsのMP3形式の音楽ファイルなら約960曲保存できます。
●USBメモリとして音楽ファイル以外のデータを保存したり、持ち運ぶこともできます。ただし、音楽ファイル以外のデータは本機では表示されません。

MP3・WMA対応

●MP3、WMA形式の音楽ファイルを再生できます。(→P.26)

マスストレージ対応

●パソコンに接続すると、音楽／音声ファイルだけでなく、画像ファイルやその他のデータを内蔵メモリに保存することができます。

ボイスレコーダー機能

●内蔵マイクを使用して、会議や家族への伝言メモなどを録音できます。(→P.45)

ID3タグ対応

●タイトル、アーティスト、アルバム名を表示できます。(→P.26)

WMAタグ対応

●タイトル、アーティスト、ジャンル、アルバム名を表示できます。(→P.26)

A-Bリピート機能

●聞きたいパートを指定して、繰り返し再生できます。(→P.56・P.57)

イコライザ機能

●曲に合わせて音質を選ぶことができます。(→P.61)

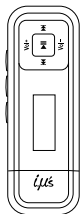
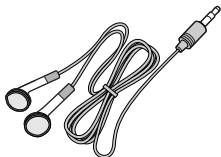
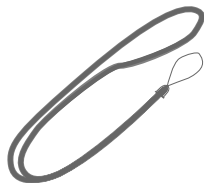
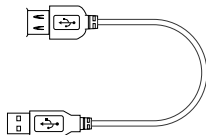
再生速度変換機能

●MP3形式の音楽ファイル、WAV形式の音声ファイルの再生速度を変更することができます。(→P.60･P.63)

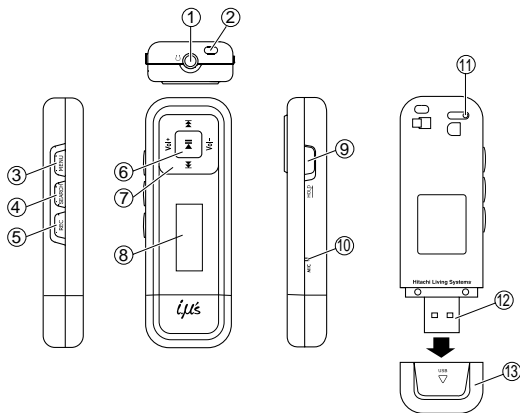
DRM10対応

●マイクロソフト社が開発したDRM10に対応しています。

付属品を確認する

はじめに、本体と付属品を確認してください。

●本体（1）　●イヤホン（1）　●ネックストラップ（1）

●専用USB延長ケーブル（1）　●取扱説明書（1）
（本書:保証書付き）

●クリップ（1）

各部の名前

①イヤホン端子

②ストラップ通し穴

③MENU(メニュー)ボタン

④SEARCH(サーチ)ボタン

⑤REC(録音)／A-Bリピートボタン

⑥電源／再生／一時停止(▶II)ボタン

※ 電源のオン／オフや再生／一時停止、設定変更時の決定操作などに使用します。

⑦操作ボタン

※ 早送り／早戻し／音量調節などの基本操作や、設定変更時の上下左右操作などに使用します。

⑧表示画面

⑨HOLD(ホールド)スイッチ

⑩内蔵マイク

⑪RESET(リセット)ボタン

⑫USBコネクタ

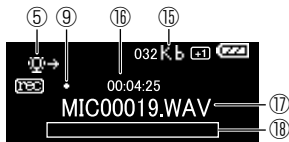
⑬USBコネクタカバー

※ 以降本書では、上記の「電源／再生／一時停止(▶II)ボタン」を「▶IIボタン」と表記します。

表示画面の見方

再生中／ボイス録音中の画面は以下のようになります。

【再生中表示画面】

【ボイス録音中表示画面】

①音量(0～32)
②ビットレート
③再生速度アイコン
④バッテリー残量
⑤イコライザ／録音アイコン
⑥プレイモード
⑦ABリピート表示
⑧再生時間
⑨ファイル形式
⑩状態(再生▶／一時停止❙❙／停止■／録音中●)
⑪再生中トラック／総トラック数
⑫再生経過時間
⑬ファイル名
⑭ID3タグ、WMAタグ情報(タイトル／アーティスト／ジャンル／アルバム)
※ ID3タグの場合は、ジャンル名は表示されません。
⑮録音音質(低:8kHz／中:12kHz／高:16kHz)
⑯録音経過時間
⑰ファイル名
⑱録音可能時間表示

準備する

バッテリーについて

ご使用になる前に本機を充電してください。

注意

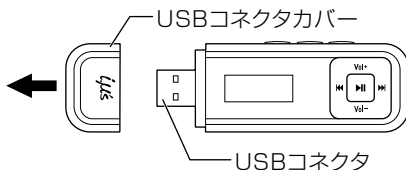
- 本機は、リチウムポリマー充電池を使用しています。
- 充電は0℃～40℃の温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、十分に充電できない場合があります。
- 充電時間は約4時間です。充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- **本機の規定充電回数(寿命)は約500回です。**なるべく使い切ってから充電することをおすすめします。フル充電してもバッテリー持続時間が半分程度になった場合は、充電池の劣化と考えられます。
- 24時間以上の連続充電はしないでください。
- 本機を分解して内蔵の充電池を取り外すことはできません。
- **本機はACアダプタ充電機では、充電できません。本機の故障の原因となります。**必ずパソコンに接続して充電してください。

ちょっとこれを!

- **充電完了後は、「パソコンから取り外す」(→P.44)を必ず行ってください。**

パソコンに接続して充電する

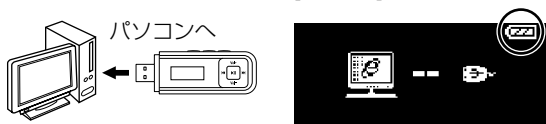
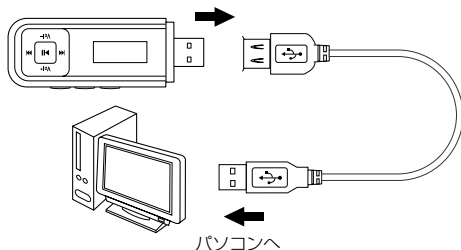
本機はパソコン(電源が入っている状態)とUSB接続することによって充電されます。(充電時間:約4時間)
パソコンにUSB接続する前に動作環境をご確認ください。(→P.27)
初めてお使いになるときは、フル充電になるまで、連続して充電してください。

1 USBコネクタカバーを取り外します。

ちょっとこれを!

●USB接続しないときは、USBコネクタカバーを取り付けてください。

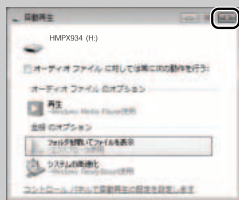
2 パソコンの電源を入れ、パソコンの起動が完了した状態になってから、差し込む向きに注意して、USBコネクタを接続します。

パソコンに接続すると図のように表示され自動的に充電を開始し、バッテリーマーク内がスクロールします。

【表示画面】

付属の専用USB延長ケーブルを図のように接続して使用することもできます。
差し込む向きにご注意ください。

ちょっとこれを!

●パソコンと接続中は、本機のボタン操作は無効になります。

注意

- ●パソコンがサスペンド／スタンバイ／休止状態のときは充電できません。
- ●ノートパソコンなどで、外部電源を使用していないときは、充電できない場合があります。
- ●初回接続時は[新しいハードウェアが見つかりました]ウィザードが表示され、自動的にパソコンが本機を認識する動作を行います。（設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。）また、[新しいハードウェアの検索ウィザード]画面が表示された場合は、[次へ]をクリックし、画面の指示に従ってください。[検索ウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
- ●Windows 7／Vista／XPで自動再生画面が表示された場合、Windows 7／Vistaでは表示画面右上の閉じるボタンを、Windows XPでは[何もしない]を選び[OK]をクリックします。

〈Windows 7／Vistaの場合〉　〈Windows XPの場合〉

3 表示画面右上のバッテリーマークが、スクロールから点灯に変わったら充電完了です。

4 **充電が完了したら、「パソコンから取り外す」(→P.44)の手順に従って本機をパソコンから外します。**

バッテリー残量表示について

表示画面右上のバッテリーアイコンは、バッテリー残量を示しています。
バッテリー残量が少なくなったら、充電してください。

【表示画面】

※ この表示の場合、表示部が点灯しなかったり、正常に動作しない場合がありますので、充電してください。

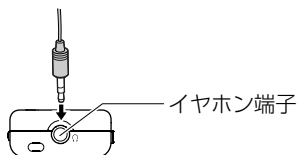
注意

- 電池残量がなくなると、「ローバッテリー充電してください」と表示され、電源がオフになります。
- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- バッテリー残量の表示はご使用上の目安としてご利用ください。

ちょっとこれを!

- 連続再生時間:約12時間
  ※ フル充電、MP3(128kbps)、音量:10、バックライト:30秒、再生速度:0(×1.0)に設定した場合。

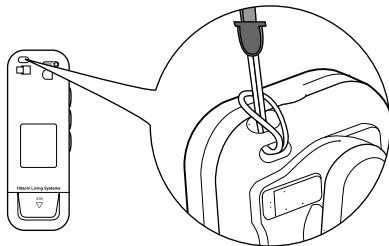
イヤホンを使用する

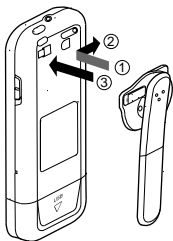
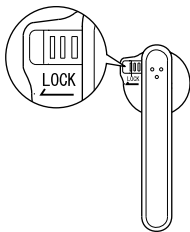
本機の電源がオフになっていることを確認して、図のようにイヤホンのプラグをイヤホン端子に差し込みます。

注意

●イヤホンのプラグを抜き差しするときは、必ず本機の電源をオフにしてください。
また、イヤホンを耳にはめたまま、イヤホンのプラグの抜き差しをしないでください。耳をいためるおそれがあります。

●イヤホンのプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になります。常によい音でご使用いただくために、イヤホンのプラグ部分をやわらかい布などで乾拭きしてください。

ストラップを取り付ける

付属のネックストラップを、図のようにストラップ通し穴に取り付けます。

クリップを取り付ける

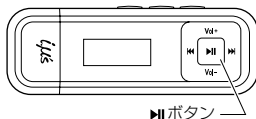
1 本体背面の取り付け穴に、クリップのツメを図のように差し込みます。

2 クリップのロックスイッチを矢印の方向にスライドして、ロックします。

注意

●クリップを取り付けるときは、必ずロックスイッチの位置を右にしてから行ってください。
無理な力が加わると、破損の原因になります。
●激しい運動をするときは、クリップを使わないでください。本機が落下する恐れがあります。
●クリップで指等をはさまないようにご注意ください。

電源をオンにする／オフにする

電源をオンにする

表示画面に「Welcome」が表示されるまで、▶IIボタンを長押しして電源をオンにします。

【本体】

注意

●HOLD（ホールド）スイッチがホールド状態の位置にあるときは、一旦電源が入りますが、表示画面に「 ホールド 」が表示され、電源がオフになります。ホールド状態を解除してから電源を入れ直してください。（→P.24）
●電源をオンにするときに、記録されている全てのファイルを確認いたしますので、本機に記録されているファイル数が多くなるにつれて、起動完了までの時間が長くなります。

電源をオフにする

表示画面に「ByeBye」が表示されるまで、▶IIボタンを長押しして電源をオフにします。

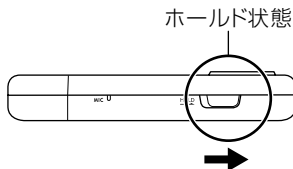
注意

●▶IIボタンを押す操作が短すぎると、電源がオフにならない場合があります。

準備する

ホールド機能を使う

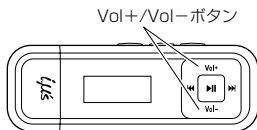
本機をカバンやポケットに入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押してしまっても動作するのを防ぐ機能です。
HOLD(ホールド)スイッチを矢印方向にスライドさせると、ボタン操作が機能しないホールド状態になります。
解除するときは、HOLD(ホールド)スイッチを元の位置に戻します。

【本体】

ちょっとこれを!

●ホールド状態でも、パソコンに接続し、充電することができます。

音量を調節する

Vol＋またはVol－ボタンを押して音量を調節します。

【本体】

【表示画面】

注意

●音量の調節(0～32)は、再生中に音量を確認しながら行ってください。
●お買い上げ時の音量初期値は10です。

再生する前に

パソコンから音楽ファイルを取り込む

パソコンから音楽ファイルを取り込む前に

Windows Media Playerなどのソフトウェアを使うと、音楽CDからパソコンへ曲を取り込む(録音する)ことができます。
ここでは、Windows Media Player 12およびWindows Media Player 11を使った方法をご紹介します。
詳しくは、お手持ちのパソコンの取扱説明書やWindows Media Playerのヘルプをご覧ください。

再生できるファイル形式を確認する

以下の条件のファイルを再生できます。

- **MP3(MPEG-1Audio Layer-3)**
  ビットレート:32〜320kbps
- **WMA(Windows Media Audio)**
  ビットレート:32〜192kbps

ちょっとこれを!

- ●曲情報は、MP3はID3[Ver.1/Ver.2]タグ形式、WMAはWMAタグ形式に対応しています。
- ●本機で表示できる曲情報は、「タイトル名」、「アーティスト名」、「ジャンル名」、「アルバム名」です。
- ●ID3タグ、WMAタグの情報がない場合は、何も表示されません。

注意

●MP3ファイルの場合は128kbps以上、WMAファイルの場合は64kbps以上のビットレートを推奨します。
上記ビットレート以下の場合でも、再生することはできますが、音が割れて聞こえる場合があります。

パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続する場合は、以下の条件がそろっていることが必要です。接続する前に必ずご確認ください。

- **対応OS:Windows 7／Vista／XP SP2以降 日本語版**
- **Windows Media Player 11以降のバージョン**
- **USBインターフェース(1.1／2.0仕様)を標準装備している機種**

注意

●OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証できません。
●USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証できません。
●機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

音楽配信サイトからの音楽購入について

本機は、音楽配信サイトから購入して、ダウンロードした音楽ファイルを取り込んで聞くことができます。

※ 音楽配信サイトによっては対応していない場合もあります。

再生収録可能な曲数（目安）

1曲を約4分で換算した場合の目安は次のようになります。

ファイル形式	ビットレート	HMP-X934（4GB）
MP3	128kbps	約960曲
	192kbps	約720曲
	256kbps	約480曲
WMA	64kbps	約1920曲
	96kbps	約1440曲
	128kbps	約960曲
	192kbps	約720曲

ちょっとこれを!

●内蔵フラッシュメモリは一部プログラムファイルが格納されているため、記録可能領域は約3.7GBになります。

●ビットレートの数値が大きくなると音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなり、内蔵メモリに記録できる曲数は少なくなります。
推奨のビットレートを目安にお試し頂き、目的に応じたビットレートを設定してください。

●本機で取り扱い可能なフォルダ階層数、フォルダ+ファイルの制限数は、以下の通りです。
- フォルダ階層数:8階層
- フォルダ+ファイル制限数:65,535ファイル
（例:100フォルダある場合、65,435ファイルを取り込むことができます。）

Windows Media Player 12を使用する場合

音楽CDから音楽ファイルをパソコンに取り込む

1 **音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。**

2 **Windows Media Player 12を起動します。**

音楽CDから読み込んだ曲がリスト表示されます。全ての曲(チェックボックス)にチェックマークが付けられています。

［CDの取り込み］ボタン

チェックボックス

3 **[ツール]メニューの[オプション]をクリックします。**

[ツール]メニューが表示されていない場合は、[alt]キーを押します。

4 [オプションメニュー]の[音楽の取り込み]をクリックします。

注意

●「取り込んだ音楽を保護する」にチェックをつけて音楽CDから音楽ファイルを取り込んだときは、必ず「パソコンに接続して音楽ファイルを取り込む」(→P.33)で、本機に取り込んでください。「その他の取り込み方」(→P.41)で取り込むと、再生できません。(パソコンの環境によっては、再生できる場合があります。)
「その他の取り込み方」(→P.41)で取り込むときは、必ず「取り込んだ音楽を保護する」のチェックをはずしてください。

「その他の取り込み方」(P.41)で取り込むときは、必ずチェックをはずしてください。

5 **必要に応じて音質を選択し、[OK]ボタンをクリックします。**

6 **取り込まない曲のチェックボックスをクリックし、チェックマークを外します。**

7 **画面上部の[CDの取り込み]ボタンをクリックします。**

選択した曲の取り込み(パソコンへの録音)が始まります。

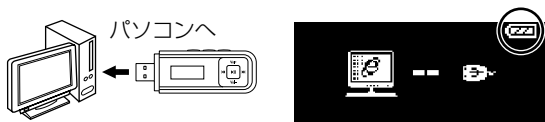
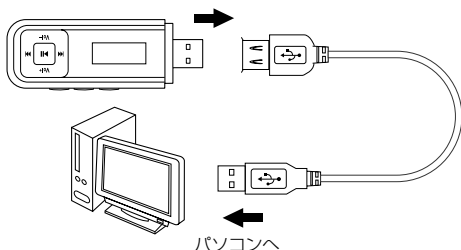
ちょっとこれを!

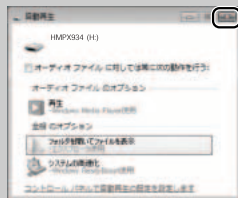
●設定を変更しない場合(初期設定時)、取り込んだ曲は、Windows 7/Vistaの場合は[ミュージック]フォルダ内に作成される[アーティスト名]フォルダに、Windows XPの場合は[マイミュージック]フォルダ内に作成される[アーティスト名]フォルダに保存されます。
ID3タグ、WMAタグ上でアーティスト名を持たない場合は、[アーティスト情報なし]フォルダが作成され、そのフォルダ内に保存されます。

パソコンに接続して音楽ファイルを取り込む

1 USBコネクタカバーを取り外します。

2 パソコンの電源を入れ、パソコンの起動が完了した状態になってから、差し込む向きに注意して、USBコネクタを接続します。

パソコンに接続すると図のように表示され自動的に充電を開始し、バッテリーマーク内がスクロールします。

付属の専用USB延長ケーブルを図のように接続して使用することもできます。
差し込む向きにご注意ください。

注意

●Windows 7／Vista／XPで自動再生画面が表示された場合、Windows 7／Vistaでは表示画面右上の閉じるボタンを、Windows XPでは[何もしない]を選び[OK]をクリックします。

〈Windows 7／Vistaの場合〉

〈Windows XPの場合〉

3 Windows 7／Vistaの場合は[コンピュータ]を、Windows XPの場合は[マイコンピュータ]を開き、本機に該当するポータブルデバイスが表示されていることを確認します。

4 Windows Media Player 12を起動して、[同期]タブをクリックします。

5 転送する曲をライブラリから選択します。

6 ファイル単位、またはアルバム単位で選択して右クリックし、「追加」から「同期リスト」を選択してクリックします。

選択したファイルが、リストウィンドウ領域に追加されます。

7 ナビゲーションウィンドウから、[HMPX934]または本機に該当するポータブルデバイスを選択します。

8 **[同期の開始]をクリックして、同期を開始します。**

同期を開始すると同期画面に切り替わり、[同期中…]と表示されます。
同期が終了すると「同期が完了しました。」に変わります。

注意

- ●音楽ファイルを本機に取り込み中は、パソコンから絶対に取りはずさないでください。保存されている音楽ファイルや記録されているデータなどが破損する原因になります。
- ●パソコンと接続中は、本機のボタン操作は無効になります。

Windows Media Player 11を使用する場合

音楽CDから音楽ファイルをパソコンに取り込む

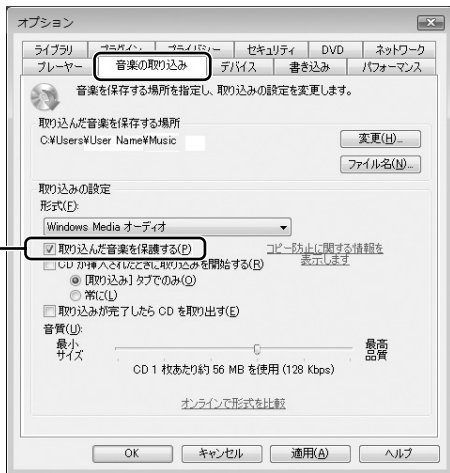
1 **音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。**

2 **Windows Media Player 11を起動します。**

3 **[ツール]メニューの[オプション]をクリックします。**

4 [オプションメニュー]の[音楽の取り込み]をクリックします。

注意

●「取り込んだ音楽を保護する」にチェックをつけて音楽CDから音楽ファイルを取り込んだときは、必ず「パソコンに接続して音楽ファイルを取り込む」(→P.39)で、本機に取り込んでください。「その他の取り込み方」(→P.41)で取り込むと、再生できません。(パソコンの環境によっては、再生できる場合があります。)
「その他の取り込み方」(→P.41)で取り込むときは、必ず「取り込んだ音楽を保護する」のチェックをはずしてください。

「その他の取り込み方」(P.41)で取り込むときは、必ずチェックをはずしてください。

5 必要に応じて音質を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

6 画面上部の[取り込み]ボタンをクリックします。
音楽CDから読み込んだ曲がリスト表示されます。全ての曲(チェックボックス)にチェックマークが付けられています。

7 取り込まない曲のチェックボックスをクリックし、チェックマークを外します。

8 [取り込みの開始]ボタンをクリックします。

選択した曲の取り込み(パソコンへの録音)が始まります。

ちょっとこれを!

●設定を変更しない場合(初期設定時)、取り込んだ曲は、Windows 7／Vistaの場合は[ミュージック]フォルダ内に作成される[アーティスト名]フォルダに、Windows XPの場合は[マイミュージック]フォルダ内に作成される[アーティスト名]フォルダに保存されます。
ID3タグ、WMAタグ上でアーティスト名を持たない場合は、[アーティスト情報なし]フォルダが作成され、そのフォルダ内に保存されます。

パソコンに接続して音楽ファイルを取り込む

Windows Media Playerを使用して、本機に音楽ファイルを取り込みます。

1 P.33～P.34の手順1～3を行います。

2 Windows Media Player 11を起動して、[同期] ボタンをクリックします。

3 転送する曲をライブラリから選択します。

4 ファイル単位、またはアルバム単位で選択して右クリックし、「同期リストに追加」をクリックします。

選択したファイルが、リストウィンドウ領域に追加されます。

5 ナビゲーションウィンドウから、[HMPX934]または本機に該当するポータブルデバイスを選択します。

6 [同期の開始]をクリックして、同期を開始します。

同期を開始すると同期画面に切り替わり、[同期しています]と表示されます。
同期が終了すると「デバイスに同期されました」に変わります。

注意

- **音楽ファイルを本機に取り込み中は、パソコンから絶対に取りはずさないでください。保存されている音楽ファイルや記録されているデータなどが破損する原因になります。**
- パソコンと接続中は、本機のボタン操作は無効になります。

その他の取り込み方

パソコンに取り込んだ音楽ファイルを本機に直接コピーすることで、Windows Media Playerなどのソフトウェアを使わずに取り込むこともできます。

注意

- DRM10の著作権保護付きファイル（音楽配信サイトからダウンロードしたファイルなど）を取り込む場合は、Windows Media Player 11以降のバージョンを利用して取り込んでください。
- 「その他の取り込み方」で取り込んだDRM10の著作権保護付きファイルを再生しようとすると、本機に「再生権限がありません」と表示され、再生できません。（パソコンの環境によっては、再生できる場合があります。）
- データファイルなどで大容量のファイルを取り込んだ場合、本機の処理能力上、処理速度が落ちる場合があります。
- 大切なファイルを保存される場合には、パソコンに同様のデータをバックアップとして保存されることをおすすめします。

1 パソコンの電源を入れ、P.33の手順1、手順2に従って本機をパソコンと接続します。

2 Windows 7／Vistaの場合は[コンピュータ]を、Windows XPの場合は[マイコンピュータ]を開き、本機に該当するポータブルデバイスが表示されていることを確認し、右クリックして、[開く]をクリックします。

3 [HMPX934]を右クリックし、[開く]をクリックします。

本機の画面が表示されます。

4 パソコンに取り込んだ音楽ファイルの保存先のフォルダを開きます。

設定を変更しない場合(初期設定時)、取り込んだ曲は、Windows 7／Vistaの場合は[ミュージック]フォルダ内に作成される[アーティスト名]フォルダに、Windows XPの場合は[マイミュージック]フォルダ内に作成される[アーティスト名]フォルダに保存されます。

5 本機に取り込みたい音楽ファイルまたはフォルダを右クリックして、[コピー]をクリックします。

6 本機の画面を右クリックして、[貼り付け]をクリックします。

パソコンから本機に音楽ファイルが転送されます。

ちょっとこれを!

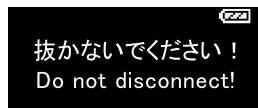
複数の音楽ファイルを選択して同時にコピーする場合、パソコンに保存されている曲順とは異なる曲順で転送されることがあります。お好みの曲順で再生したい場合は、1曲ずつ選択し、コピーしてください。
また、「ファイルの整理」(P.73)を行うと、本機に取り込んだ音楽ファイルをファイル名順に並びかえることができます。

パソコンから取り外す

本機をパソコンから取り外すときは、必ず以下の手順で行ってください。

1 本機の表示画面を確認します。

本機にデータを書き込み中の場合は、図のように表示されます。

【表示画面】

2 本機にデータを書き込んでいないことを確認してから、本機をパソコンから取り外します。

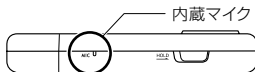
本機にデータを書き込んでいない場合は、図のように表示されます。

【表示画面】

注意

- 本機にデータを書き込み中の場合は、絶対に本機を取り外さないでください。本機やパソコン、保存されている音楽ファイルや記録されているデータが破損する原因になります。

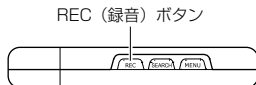
マイクから音声を録音する（ボイスレコーダー機能）

本機の内蔵マイクを使用して録音できます。

注意

●大切な録音を行う前に、必ず試し録音をして、正常に録音ができることを事前に確認してください。

1 一時停止／停止状態で、REC（録音）ボタンを押します。

音声録音が開始され、録音画面が表示されます。
録音を開始すると、新しいファイルが自動で作成され、ファイル名は「MIC00001.WAV」から順に自動で付けられます。

【本体】

【表示画面】

ちょっとこれを！

●録音を一時停止する場合は、REC（録音）ボタンを押します。
一時停止した録音を再開する場合は、再度REC（録音）ボタンを押します。

注意

●録音した音声ファイルのファイル名は変更しないでください。
再生できなくなる場合があります。

2 録音を終了する場合は、▶IIボタンを押します。

表示画面に「⌛」→「保存しました」と表示され、録音する前の画面に戻ります。

ちょっとこれを！

●内蔵マイクは無指向性のため、周囲の環境によって雑音が入ることがあります。
●かばんやポケットの中に入れたまま録音を行うと、正常に録音されない場合があります。
●録音中にメモリ容量がいっぱいになると、「メモリフル」という警告が表示され録音を終了します。

内蔵マイク録音時のファイル形式／録音可能時間※
録音ファイル形式: WAV
チャンネル: モノラル
最大録音可能時間:

録音音質 （サンプリング周波数）	最大録音可能時間 HMP-X934（4GB）
低（8kHz）	約270時間
中（12kHz）	約180時間
高（16kHz）	約135時間

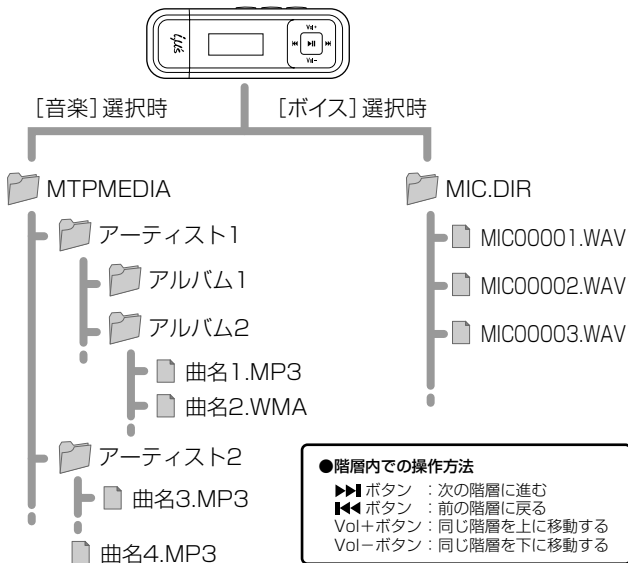
※録音可能時間内でも、バッテリーの持続時間以上連続して録音することはできません。
※録音した音声ファイルは音楽ファイルと同じ内蔵メモリに保存されますので、内蔵メモリの使用状況により、録音可能時間は異なります。
※WAV形式は、内蔵マイクで録音した音声ファイルのみ使用できます。個人で作成したWAV形式のファイルは正常に再生できないことがあります。

再生する

音楽ファイルを再生する

フォルダ構造について

パソコンの操作で、本機のメモリの中に多階層のフォルダを作成して表示できます。

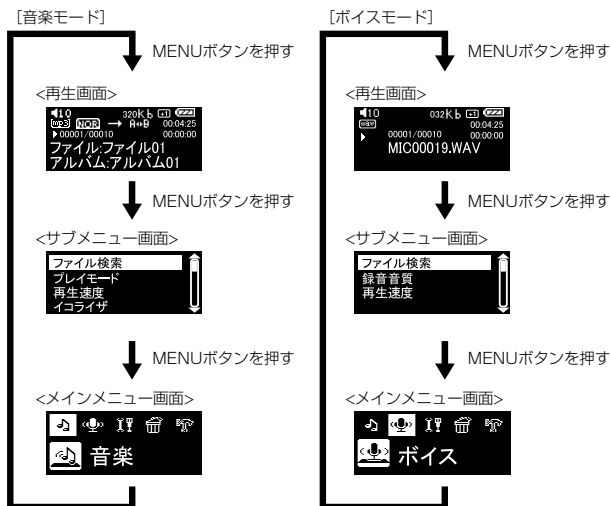
【フォルダを作成したときのメモリ内の階層イメージ】

再生する

電源オン後の表示について

●初めて使用する、および本機をフォーマット後に初めて使用する場合
電源をオンにすると、一番最初に取り込んだ音楽ファイルが表示されます。

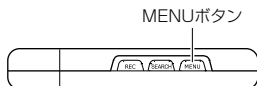
●すでに本機を使用している場合
電源をオンにすると、最後に聞いていた音楽ファイルまたは音声ファイルが表示されます。

【音楽モード、ボイスモード時の画面フロー】

MENUボタンを押すたびに画面が変わります。

再生する

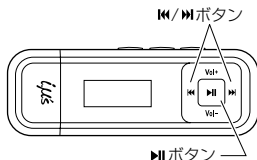
再生する

本機の現在の状態は、表示画面にアイコン(▶、❚❚、■)で表示されます。本機内に保存された音楽ファイルを全て順に再生するか、フォルダから音楽ファイルを選んで再生することができます。

1 MENUボタンを押して、メインメニュー画面を表示します。

【表示画面】

2 ⏮または⏭を押して「音楽」を選択し、⏯ボタンを押します。

音楽モードのサブメニュー画面が表示されます。

【本体】

3 Vol＋またはVol－を押して「ファイル検索」を選択し、▶IIボタンを押します。

「電源オン後の表示について」(P.48)の音楽ファイルが選択されます。

【本体】

【表示画面】

4 I◀◀、▶▶I、Vol＋、Vol－ボタンを押して再生したいファイルを選択し、▶IIボタンを押します。

選択したファイルから再生されます。

【本体】

【表示画面】

一時停止(❙❙)する

再生(▶)中に、▶❙❙ボタンを押します。

【本体】

【表示画面】

注意

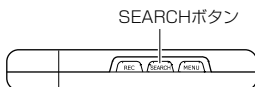
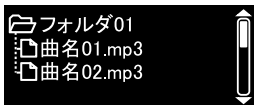
● ▶❙❙ボタンを押し続けると、電源がオフになります。

SEARCHボタンを使用する

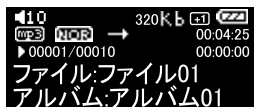
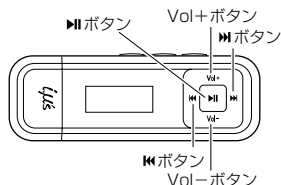
SEARCHボタンを押すと、再生画面に表示されている音楽ファイル、または最後に聞いていた音楽ファイルの検索画面に切り替わり、簡単に選曲することができます。

1 SEARCHボタンを押します。

最後に再生した音楽ファイルの検索画面に移動します。

【本体】

【表示画面】

2 ⏮、⏭、Vol＋、Vol－ボタンを押して再生したいファイルを選択し、▶IIボタンを押します。

選択したファイルから再生されます。

【本体】

【表示画面】

ちょっとこれを!

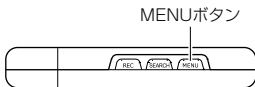
- 再生せずにSEARCHボタンを押すと、直前の画面に戻ることができます。
- 音声録音中は、SEARCH機能は使用できません。

音声ファイルを再生する

ボイスレコーダー機能で録音した音声ファイルを再生します。

再生する

1 MENUボタンを押して、メインメニュー画面を表示します。

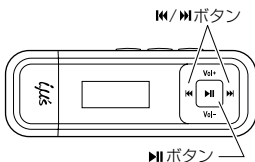
【本体】

【表示画面】

2 ⏮または⏭を押して「ボイス」を選択し、⏯ボタンを押します。

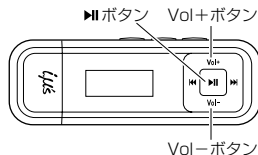
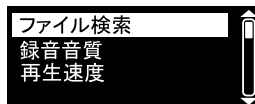
ボイスモードのサブメニュー画面が表示されます。

【本体】

【表示画面】

再生する

3 Vol＋またはVol－を押して「ファイル検索」を選択し、▶IIボタンを押します。

音声ファイルの一覧画面が表示されます。

【本体】

【表示画面】

4 Vol＋、Vol－ボタンを押して再生したいファイルを選択し、▶IIボタンを押します。

選択したファイルから再生されます。

【本体】

【表示画面】

一時停止(II)する

再生(▶)中に、▶IIボタンを押します。

【本体】

【表示画面】

再生する

注意

● ▶IIボタンを押し続けると、電源がオフになります。

停止中／一時停止中／再生中のボタン操作

停止中／一時停止中／再生中に本機を操作すると以下のように動作します。

ボタン	操作	本機の状態		
		停止中	一時停止中	再生中
▶IIボタン	押す	再生		一時停止
	長く押す	電源オフ		
進む（▶▶I）ボタン	押す	次のファイルを表示する	次の曲の先頭に移る	
	長く押す	―	早送り	
戻る（I◀◀）ボタン	押す	前のファイルを表示する	曲の先頭に戻る ※1	
	長く押す	―	早戻し	
Vol＋ボタン	押す	音量上げる		
	長く押す	早く音量上げる		
Vol－ボタン	押す	音量下げる		
	長く押す	早く音量下げる		
RECボタン	押す	録音開始 ※2		ポイントA･ポイントBの設定／A-Bリピート再生の解除
SEARCHボタン	押す	音楽ファイル検索画面を表示します。		

※1　曲の開始から3秒以内の場合には前の曲の先頭に戻ります。

※2　停止中にRECボタンを押すと、ボイスレコーダー機能がはたらき、録音を開始します。

ちょっとこれを！

● バックライトが消えているときは、一度いずれかのボタンを押してから操作してください。

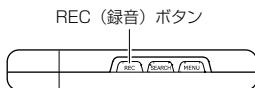
● 電源をオンにしたときのみ、停止マーク（■）が表示されます。再生中に▶IIボタンを押した場合は、一時停止マーク（II）が表示されます。

曲の一部を繰り返し再生する(A-Bリピート機能)

本機は、曲の一部を繰り返し再生することができます。開始位置(ポイントA)と終了位置(ポイントB)を設定すると、その区間を繰り返し再生します。

1 音楽／音声ファイルを再生中に、REC(A-Bリピート)ボタンを押します。

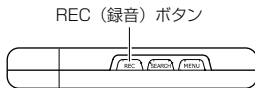
ポイントAが設定され、表示画面に が表示されます。

【本体】

【表示画面】(音楽ファイル例)

ポイントA確定中

2 もう一度、REC(A-Bリピート)ボタンを押します。

ポイントBが設定され、表示画面に が表示されて、繰り返し再生を開始します。

【本体】

【表示画面】(音楽ファイル例)

A-Bリピート再生中

3 繰り返し再生を解除する場合は、REC(A-Bリピート)ボタンを押します。

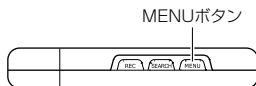
表示画面の A↔B 表示が消え、設定したポイントAおよびBは解除されます。

各種設定

以下の操作で各種設定を変更したり確認することができます。

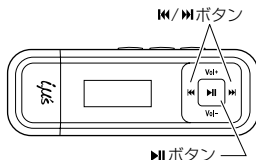
1 MENUボタンを押して、メインメニュー画面を表示します。

設定／確認できる項目(5種類)が表示されます。

【本体】

【表示画面】

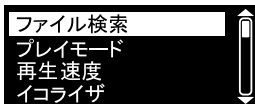
2 ⏮または⏭を押して項目を選択し、▶IIボタンで設定するメニューを決定します。

1つ上の階層に戻る場合は、MENUボタンを押します。

【本体】

各メニューの　　　　はお買い上げ時の設定(初期値)です。

音楽メニュー

ファイル検索

本機に取り込んだ音楽ファイルを検索することができます。

【表示画面】

プレイモード

お気に入りの音楽ファイルを繰り返し再生したり、シャッフル再生したり、フォルダ単位で再生することができます。
選択したプレイモードは表示画面上にアイコン表示されます。

【表示画面】

- → オール：全ての音楽ファイルを1回再生します。
- 1曲リピート：1つの音楽ファイルのみを繰り返し再生します。
- リピートオール：全ての音楽ファイルを繰り返し再生します。
- シャッフル&リピート：全ての音楽ファイルをシャッフルして繰り返し再生します。
- リピートフォルダ：フォルダ内の音楽ファイルを繰り返し再生します。
- シャッフル&リピートフォルダ：フォルダ内の音楽ファイルをシャッフルして繰り返し再生します。

ちょっとこれを!

● ボイス再生モードでは、プレイモードはオールのみになります。プレイモードを変更することはできません。

再生速度

MP3形式の音楽ファイルの再生速度を変更することができます。「-2」を選択すると再生速度が遅くなり、「+2」を選択すると再生速度が速くなります。

【表示画面】

-2　：再生速度が0.67倍になります。

-1　：再生速度が0.8倍になります。

0　：通常の再生速度になります。

+1　：再生速度が1.14倍になります。

+2　：再生速度が1.33倍になります。

ちょっとこれを!

● WMA形式の音楽ファイルの再生速度を変更することはできません。

イコライザ

お好みの音質を選んで再生することができます。選択したイコライザは表示画面上にアイコン表示されます。

【表示画面】

ノーマル　：NOR
ポップ　：POP
ロック　：ROC
クラシック　：CLA
ジャズ　：JAZ
ベース　：BAS

ファイル検索

録音した音声ファイルを検索することができます。

【表示画面】

録音音質

ボイスレコーダー機能を使用するときの音声ファイルの録音音質を設定することができます。
録音音質の「低」を選択すると長時間録音でき、録音音質の「高」を選択すると録音できる時間が短くなります。

低　：録音音質「低」（録音可能時間「長」）
中　：録音音質「中」（録音可能時間「中」）
高　：録音音質「高」（録音可能時間「短」）

再生速度

録音した音声ファイルの再生速度を変更することができます。
「-2」を選択すると再生速度が遅くなり、「+2」を選択すると再生速度が速くなります。

【表示画面】

-2 ：再生速度が0.67倍になります。

-1 ：再生速度が0.8倍になります。

0 ：通常の再生速度になります。

+1 ：再生速度が1.14倍になります。

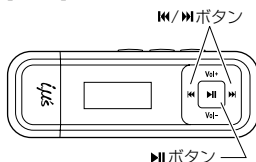
+2 ：再生速度が1.33倍になります。

ちょっとこれを!

● 本機の内蔵マイクで録音した音声ファイル以外のWAV形式のファイルは、再生速度を変更することができない場合があります。

設定メニュー

以下の設定を変更できます。
設定を変更する場合は、⏮または⏭を押してそれぞれの項目を選択し、⏯ボタンを押して変更・決定します。
1つ上の階層に戻る場合は、MENUボタンを押します。

【本体】

【表示画面】

バックライト

バックライトの点灯時間を設定します。
無操作状態が一定時間経過すると、自動でバックライトが消灯します。

5秒　　：5秒間操作しないとバックライトが消灯します。
10秒　 ：10秒間操作しないとバックライトが消灯します。
30秒　 ：30秒間操作しないとバックライトが消灯します。
常にオン：バックライトをオフにしません。

各種設定

オートパワーオフ

オートパワーオフの時間を設定します。
一時停止(❙❙)または停止(■)状態が一定時間経過すると、自動で電源がオフになります。

1分　：1分間操作しないと電源がオフになります。
5分　：5分間操作しないと電源がオフになります。
10分：10分間操作しないと電源がオフになります。
オフ　：オートパワーオフ機能を使用しません。

メニュー言語

本機の表示言語を 日本語 ／英語／中国語(繁体字)／中国語(簡体字)／韓国語から選択します。

各種設定

消 去

本機に保存されている音楽／音声ファイルを、1ファイルずつ選択して消去することができます。

【表示画面】

音楽／音声ファイルを消去する

注 意

- 一度消去してしまったファイルは二度と元に戻すことはできません。消去するときは、本当に不要なファイルかをよく確かめてください。
- フォルダを消去することはできません。

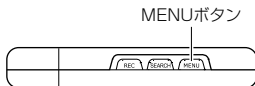
1 MENUボタンを押して、メインメニュー画面を表示します。

【本体】

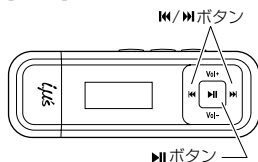
MENUボタン

REC SEARCH MENU

【表示画面】

音楽

2 ◀◀または▶▶を押して「消去」を選び、▶IIボタンを押します。

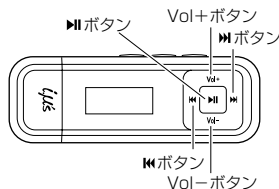
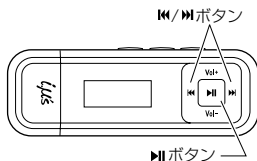
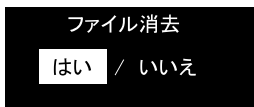
音楽／音声ファイルの一覧画面が表示されます。

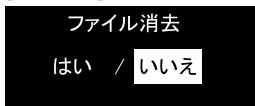
【本体】

【表示画面】

3 ◀◀、▶▶、Vol＋、Vol－ボタンを押して消去したいファイルを選択して、▶IIボタンを押します。

【本体】

【表示画面】

各種設定

4 消去の確認画面が表示されるので⏮または⏭を押して「はい」を選択し、⏯ボタンを押します。

【本体】　　　　　　　　　　【表示画面】

●消去操作をやめる場合は、「いいえ」を選択し⏯ボタンを押します。

【表示画面】

システムツール

フォーマット(初期化)

フォーマット(初期化)とは、内蔵メモリに音楽／音声ファイルおよびデータを記録できるようにする作業です。
本機でフォーマットまたはパソコンでフォーマット(P.71)することができます。

【表示画面】

注 意

● フォーマット(初期化)すると、内蔵メモリ内のデータは全て消去されますので、内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。

本機でフォーマット(初期化)する

1 **MENUボタンを押して、メインメニュー画面を表示します。**

【本体】

【表示画面】

各種設定

2 ⏮または⏭を押して「システムツール」を選択し、▶IIボタンを押します。

【本体】

⏮/⏭ボタン

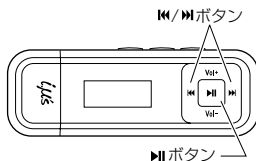
Vol+

Vol−

▶IIボタン

【表示画面】

3 ⏮または⏭を押して「フォーマット」を選択し、▶IIボタンを押します。

【本体】

【表示画面】

4 フォーマットの確認画面が表示されますので、⏮または⏭を押して「はい」を選択し、▶IIボタンを押します。

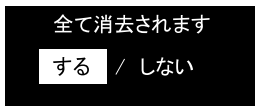
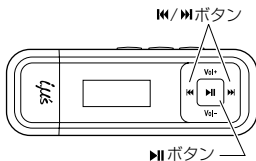
【本体】

【表示画面】

5 もう一度確認画面が表示されるので、⏮または⏭を押して「する」を選択し、▶IIボタンを押します。

フォーマットが実行されます。

【本体】

【表示画面】

●フォーマットをやめる場合は、「しない」を選択し、▶IIボタンを押します。

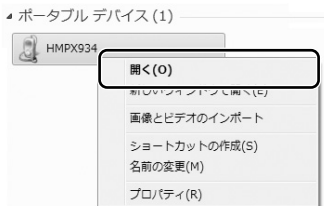
【表示画面】

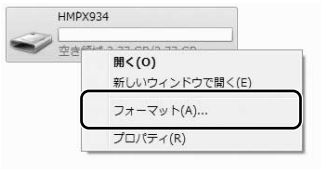
全て消去されます

する / しない

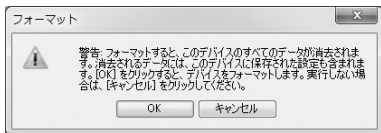
パソコンでフォーマット(初期化)する

1 パソコンの電源を入れ、P.33の手順1、手順2に従って、本機とパソコンを接続します。

2 Windows 7／Vistaの場合は[コンピュータ]を、Windows XPの場合は[マイコンピュータ]を開き、本機に該当するポータブルデバイスを右クリックし、[開く]をクリックします。

3 [HMPX934]を右クリックし、「フォーマット」をクリックします。

各種設定

注意

● フォーマットの対象が本機であることを確認してから実行してください。誤って他のドライブをフォーマットするとパソコン上の大切なデータやファイルを消去することになりますのでご注意ください。

4 フォーマットの警告画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

5 フォーマットが完了したら、[OK]ボタンをクリックします。

6 終了したら、「パソコンから取り外す」(P.44)の手順に従って本機をパソコンから取り外します。

ファイルの整理

本機に取り込んだ音楽ファイルを、ファイル名順に並び替えます。

【表示画面】

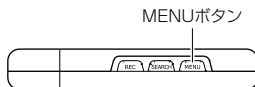
ファイルを整理する

注 意

● 内蔵メモリの使用状況によっては、ファイルの整理が完了するまでの時間が5分程度かかる場合があります。

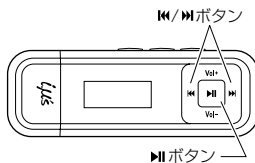
各種設定

1 MENUボタンを押して、メインメニュー画面を表示します。

【本体】

【表示画面】

2 ⏮または⏭を押して「システムツール」を選択し、▶IIボタンを押します。

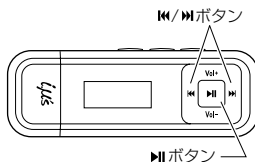
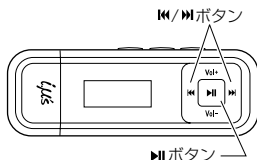
システムツール画面が表示されます。

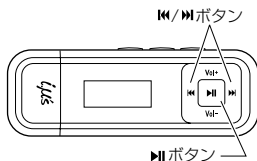
【本体】

【表示画面】

3 ⏮または⏭を押して「ファイルの整理」を選択し、▶IIボタンを押します。

【本体】

【表示画面】

各種設定

4 ファイルの整理の確認画面が表示されるので、⏮または⏭を押して「はい」を選択し、⏯ボタンを押します。

【本体】　　　　　　　　　　　　【表示画面】

5 もう一度確認画面が表示されるので、⏮または⏭を押して「する」を選択し、⏯ボタンを押します。

●ファイルの整理をやめる場合は、「しない」を選択し、⏯ボタンを押します。

【表示画面】

各種設定

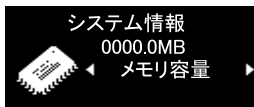
ちょっとこれを!

- 「ファイルの整理」中に中止したい場合は、MENUボタンを押してください。
  この場合、ファイル名の順番は変更されません。

システム情報

メモリ容量、メモリの空き容量と本機のバージョン情報を表示します。
⏮または⏭ボタンを押すと、画面が切り替ります。
情報を確認したら▶IIボタンまたはMENUボタンを押し、1つ前の画面に戻ります。

【表示画面】

付録

用語解説

MP3(MPEG-1 Audio Layer3)

ISO(国際標準化機構)のワーキンググループであるMPEGが制定した国際規格です。この圧縮方式では、約1/10の圧縮率が得られます。

WMA(Windows Media Audio)

マイクロソフト社が開発した音声圧縮方式、及びそれを使用したオーディオファイルです。この圧縮方式では、約1/20の圧縮率が得られます。

WAV

Windowsの標準的な音声ファイルです。

ID3/WMAタグ

MP3/WMAファイルが持っているアーティスト名やタイトル名、アルバム名などの曲情報で、デジタルオーディオプレーヤーで再生するときに表示するための規格です。

ビットレート

1秒間に転送されるデータ量の単位で、単位はbps(bit per second)。数値が大きいほど音質は良くなりますが、CDとほぼ同等の音質と言われているビットレートは、MP3では128kbps、WMAでは64kbpsです。

DRM(Digital Rights Management)※

デジタル著作権管理。インターネットを通じて音楽や映像を配信する際に、違法なコピーを防止するために使われます。コンテンツとともに再生のためのライセンスを配布するため、ライセンスのない別のパソコンでは再生できず、デジタルオーディオプレーヤーもDRMに対応していない機器では再生できません。

※ 本機はDRM10(マイクロソフト社開発)に対応しています。

パソコントラブルシューティング

本機をパソコンに接続しても認識されない場合等、パソコン接続でお困りの場合は、以下をご確認ください。

1 最初に、ご使用のパソコンに接続されている全てのUSB機器を取り外し、パソコンのUSB端子に本機のUSBコネクタが奥までしっかり接続されているか、ご確認ください。

2 パソコンのオペレーティングシステム(以下、OS)は何ですか？

弊社デジタルデジタルオーディオプレーヤーは、Windows 7/Vista/XP SP2以降 日本語版のOSに対応しております。

Windows 7/Vista→ **3**へ進んでください。
Windows XP SP2以降→ **4**へ進んでください。

付録

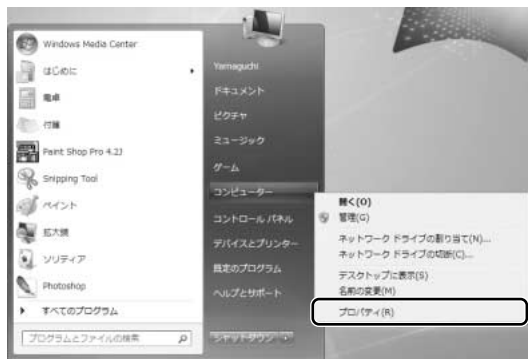
3 以下の手順で、本機が認識されているか確認してください。

（1）[スタート]をクリックします。

（2）[コンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。

[プロパティ]が表示されない場合は、**7**へ進んでください。

〈Windows 7の場合〉

付録

〈Windows Vistaの場合〉

(3) システム情報の画面が表示されますので、画面左上の[デバイスマネージャ]をクリックします。

〈Windows 7の場合〉

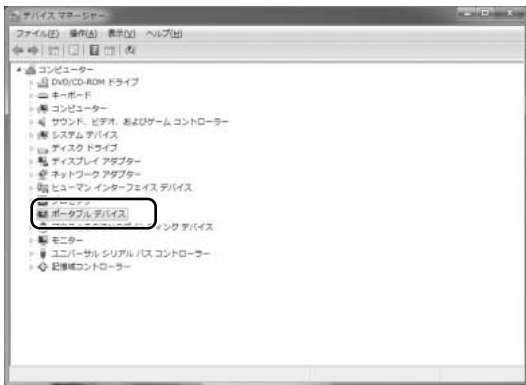
付録

〈Windows Vistaの場合〉

(4) Windows Vistaの場合は[ユーザーアカウント制御]の画面が表示されますので、[続行]をクリックします。
(5) [デバイスマネージャ]画面が表示されます。

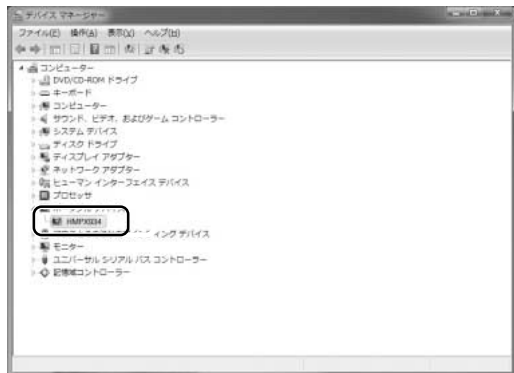
付録

(6) [ポータブルデバイス]の左側の、Windows 7の場合は[▷]を、Windows Vistaの場合は[+]をクリックします。

〈Windows 7の場合〉

〈Windows Vistaの場合〉

（7）[ポータブルデバイス]の詳細が表示されます。

(8) 本機に該当するポータブルデバイスまたは[HMPX934]が表示されているかを確認します。

〈Windows 7の場合〉

〈Windows Vistaの場合〉

(9) 本機に該当するポータブルデバイスまたは[HMPX934]が表示されている場合は、**5** へ進んでください。
本機に該当するポータブルデバイスまたは[HMPX934]が表示されていない場合は、**9**へ進んでください。

4 以下の手順で、本機が認識されているか確認してください。

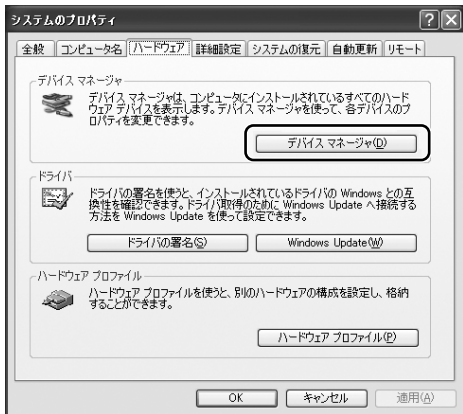
(1) [スタート]をクリックします。

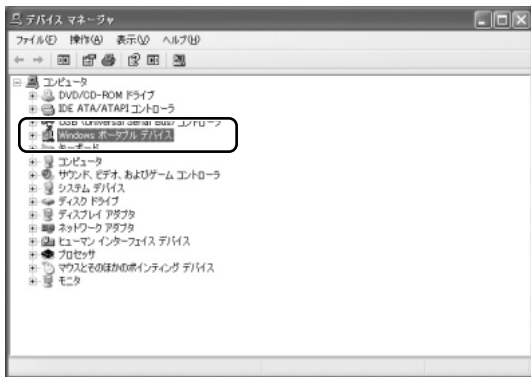
(2) [マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
[プロパティ]が表示されない場合は、**7**へ進んでください。

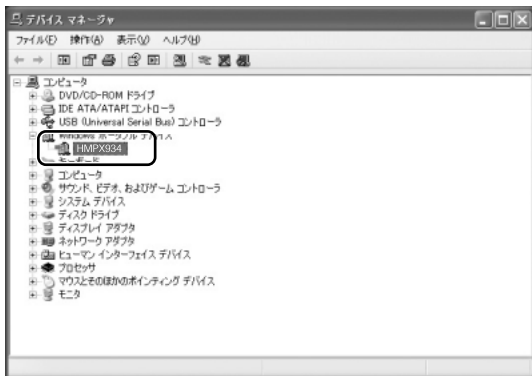
(3) [システムのプロパティ]画面が表示されます。

付録

(4) [システムのプロパティ]上段の[ハードウェア]をクリックします。

(5) [デバイスマネージャ]をクリックします。

(6) [デバイスマネージャ]画面が表示されます。

(7) [デバイスマネージャ]の中の[Windows ポータブルデバイス]または[Portable Devices]の左側の[+]をクリックします。

(8) [Windows ポータブルデバイス]または[Portable Devices]の詳細が表示されます。

(9) ［Windows ポータブルデバイス］または［Portable Devices］の中に［HMPX934］が表示されているかを確認します。

(10) ［HMPX934］が表示されている場合は、**5**へ進んでください。［HMPX934］が表示されていない場合は、**9**へ進んでください。

5 他のパソコンに接続した場合、本機はパソコンに認識されますか？

はい→　**6**へ進んでください。

いいえ→　**9**へ進んでください。

6 本機が認識されないパソコンに再度接続して認識されますか？

はい→　**10**へ進んでください。

いいえ→　**8**へ進んでください。

7 [コンピュータ](Windows 7／Vistaの場合)もしくは、[マイコンピュータ](Windows XP SP2以降の場合)の[プロパティ]が表示されない。

→ パソコンの管理者による制限が施されている可能性が有ります。パソコンの管理者に確認してください。

8 本機に該当するポータブルデバイスまたは[HMPX934]が表示されているが、[コンピュータ](Windows 7／Vistaの場合)や[マイコンピュータ](Windows XP SP2以降の場合)に表示されない。

→ パソコンのシステムまたは、パソコンのソフトウェアなどに起因している可能性が有ります。パソコンの管理者または、パソコンメーカー様へ、ご確認ください。

9 [ポータブルデバイス](Windows 7／Vistaの場合)または、[Windows ポータブルデバイス]または[Portable Devices](Windows XP SP2以降の場合)が表示されていない

→ 本機が破損している可能性がありますので、ご購入店へお持ちください。

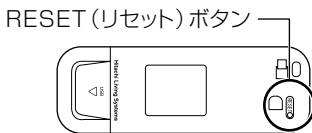
→ パソコンのUSB端子または、システム上の問題も考えられます。詳しくは、パソコンメーカー様などにご確認ください。

10 本機をパソコンに再接続したら正常に認識できた。

→ パソコンへのUSB接続時に、何らかの要因により通信に失敗したと考えられます。数回接続確認をしていただき、パソコンに認識されるようでしたら、ご使用いただいて問題はございません。

故障とお考えになる前に

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

・ **本機が動作しなくなった場合は、クリップなどの細い棒で、本機のRESET(リセット)ボタンを押して再度電源をオンにしてください。**

バッテリー・電源

症状	主な原因	処置
電源がオンにならない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。P. 17～19
	内部システムなどの誤動作	RESET（リセット）ボタンを押してから、再度電源をオンにします。
	▶II ボタンを押す時間が短い	表示画面に「Welcome」が表示されるまで ▶II ボタンを押してください。P.23
	ホールド状態になっている	HOLD（ホールド）スイッチを操作し、ホールド状態を解除してから、再度電源をオンにします。P.24
バッテリーの消耗が早い	温度が極端に低い環境で使用している	使用環境をご確認ください。P.10
	バックライトの設定が「常にON」になっている	バックライトの点灯時間の設定を変更します。P.64
	オートパワーオフがはたらいていない	オートパワーオフ時間の設定を変更します。P.65
	規定充電回数を越えている	バッテリーの寿命と考えられます。P.16
電源が途中でオフになる	オートパワーオフがはたらいた	もう一度電源をオンにします。
		オートパワーオフ時間の設定を変更します。P.65
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。P.17～19
バッテリーの残量表示が正しく表示されない	温度が極端に低い環境で使用している	使用環境をご確認ください。P.10
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。P.17～19

付録

パソコンと接続する

パソコントラブルシューティングもあわせてご参照ください。(→P.78)

症状	主な原因	処置
本機がパソコンに認識されない。 ([ポータブルデバイス]が表示されないなど)	USBハブなどを使用している	USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続します。
	正しくUSB接続されていない	パソコンから本機を抜いてもう一度しっかり接続します。
	パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている	キーボード／マウス以外は取り外します。
	本機の動作を妨げている他のドライバまたはデジタルオーディオプレーヤーがある	[デバイスマネージャ]を開き、[ポータブルデバイス]を確認します。 [HMPX934]に黄色い[!]マークが付いているときは、[HMPX934]を削除してから、本機を取り外し、もう一度接続し直します。
	パソコンのUSB機能が有効になっていない	[デバイスマネージャ]を開き、[ポータブルデバイス]を確認します。 [ポータブルデバイス]が表示されていないときは、USB機能が無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照の上、有効に設定を変更します。

症状	主な原因	処置
本機がパソコンに認識されない。（[ポータブルデバイス] が表示されないなど）	正しくUSB接続されていない	[ポータブルデバイス] に黄色い [!] や赤い [×] マークが付いているときは、USB機能は動作しません。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照の上、有効に設定を変更してください。
		パソコンから本機を抜いてもう一度しっかり接続します。
パソコンから音楽ファイルを本機に転送できない	本機のメモリ残量が不足している	ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去します。

デバイスマネージャ

[デバイスマネージャ]は、[コンピュータ]または[マイコンピュータ]から右クリックで[プロパティ]を選ぶか、[コントロールパネル]から[システム]をダブルクリックして、[システムのプロパティ]から開きます。

付録

再生／録音

症状	主な原因	処置
再生できない	ファイルが破損している	ファイルデータを確認して、転送しなおしてください。
	転送するフォルダとファイル数が多すぎる	本機で表示／再生できるフォルダ+ファイル数の上限は65,535ファイルです。 それをこえた場合は表示／再生できないファイルが生じます。
本機で文字が正しく表示されない	表示できない文字が含まれている	フォントデータの制限により表示できない文字があります。
ボタンを押しても反応がない	ホールド状態になっている	ホールドスイッチを操作し、ホールド状態を解除してから、再度操作します。
	パソコンと本機をUSBケーブルで接続している	パソコンと本機を接続している間は、操作できません。USBケーブルを取り外してから、操作します。
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。P.17～19
	結露している	そのまま2～3時間置いてからご使用ください。
取り込んだファイルが表示されない	MICフォルダに保存している	MICフォルダ以外の場所に保存してください。

症状	主な原因	処置
音声が聞こえない	音量が最小「0」になっている	Vol+ボタンを押して音量を上げます。
	イヤホン端子に正しく差し込まれていない	イヤホンのプラグを正しく差し込みます。
	イヤホンのプラグが汚れている	乾いた布でプラグの汚れを拭き取ります。
	ファイルが入っていない	「ファイルがありません」と表示されるときは音楽ファイルを取り込む、または録音します。
	ファイル形式がMP3／WMA／WAVではない	パソコン上でファイル形式を確認してください。本機はMP3／WMA／WAV形式以外の音楽／音声ファイルの再生はできません。
音声が割れる／雑音が入る	MP3／WMAファイル形式のビットレート設定値が低い	録音するときに、MP3／WMAのビットレートの設定値を高くします。
	イヤホン端子に正しく差し込まれていない	イヤホンのプラグを正しく差し込みます。
	イヤホンのプラグが汚れている	乾いた布でプラグの汚れを拭き取ります。
メニューの表示言語が他の言語になっている	「メニュー言語」が他の言語になっている	「メニュー言語」を「日本語」に切り替えます。P.65
マイク録音できない	本機のメモリ残量が不足している	ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去します。

警告表示

表示	主な原因	処置
ファイルがありません	再生できるファイルが入っていない	再生できるファイルを本機に転送します。
メモリフル	本機のメモリ残量が不足している	ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去します。
ローバッテリー充電してください	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。
ホールド	ホールド状態になっている	ホールドスイッチを操作し、ホールド状態を解除してから、再度操作します。
再生できない形式です	対応していないファイル形式を再生しようとしている	パソコン上でファイル形式、ビットレートを確認してください。本機はMP3/WMA形式以外の音楽ファイルは再生できません。
再生権限がありません	DRM10の複製制限を超えた音楽ファイルを再生しようとしている。	本機では複製制限を超えたファイルは再生できません。
	Windows Media Player 11以降のバージョンを使用せずに本機に取り込んだDRM10の著作権保護付きファイルを再生しようとしている。	Windows Media Player 11以降のバージョンを使用して、本機にDRM10の著作権保護付きファイルを取り込んでください。

仕様

モデル名		HMP-X934
記録メディア		内蔵4GBフラッシュメモリ※1
ディスプレイ		液晶（128×64ドット）
表示言語(メニュー)		日本語／英語／中国語（繁体／簡体）／韓国語
音楽再生	再生ファイル形式［ビットレート］	MP3［32～320kbps］/ WMA［32～192kbps］
	可変ビットレート（VBR）	○対応
	デジタル著作権管理（DRM）	DRM10対応（マイクロソフト社開発）※2
	ID3タグ［バージョン］	○［Ver.1/Ver.2］（タイトル名／アーティスト名／アルバム名表示）
ボイスレコーダー	内蔵マイク	無指向性マイク
	録音ファイル形式	WAV（ADPCM方式、モノラル）
	最大録音時間	約270時間（録音音質:低）※3
オーディオ	周波数特性	20Hz～20,000Hz
	S／N比	80dB
	イヤホン出力	5mW+5mW/32Ω
	イコライザ	ノーマル/ロック/ジャズ/クラシック/ポップ/ベース
	プレイモード	オール/1曲リピート/リピートオール/シャッフル&リピート/リピートフォルダ/シャッフル&リピートフォルダ
	再生速度	-2（×0.67）／-1（×0.8）／0（×1.0）／+1（×1.14）／+2（×1.33）※4
入出力端子	USB端子	USB1.1/USB2.0
	イヤホン端子	φ3.5mm
対応OS		Microsoft Windows 7/Vista/XP SP2以降 日本語版
電源		内蔵リチウムポリマー充電池

付録

充電時間	約4時間（USB充電）
バッテリー持続時間	約12時間※5
外形寸法（突起部含む）	幅29×高さ85×奥行き13.5mm
質量（内蔵バッテリー含む、付属品除く）	約30g
使用条件	0℃～40℃　湿度85%以下（結露しないこと）
付属品	イヤホン、ネックストラップ、専用USB延長ケーブル、クリップ、取扱説明書（本書:保証書付）

※1　内蔵のフラッシュメモリは一部プログラムファイルが格納されているため、記録可能領域は約3.7GBになります。

※2　本機にDRM10の著作権保護付ファイルを取り込むときは、Windows Media Player 11以降のバージョンを利用して取り込んでください。

※3　ファイル形式:WAV、サンプリング周波数8kHz

※4　対応ファイルはMP3形式、WAV形式（内蔵マイクで録音したファイルのみ）になります。

※5　バッテリー持続時間は、フル充電、MP3ファイル（128kbps）、音量10、バックライト30秒、再生速度0（×1.0）に設定した場合。上記の時間はあくまでも目安であり、保証するものではありません。

再生収録可能な曲数（目安）

1曲を約4分で換算した場合の目安は次のようになります。

ファイル形式	ビットレート	HMP-X934（4GB）
MP3	128kbps	約960曲
	192kbps	約720曲
	256kbps	約480曲
WMA	64kbps	約1920曲
	96kbps	約1440曲
	128kbps	約960曲
	192kbps	約720曲

メニューリスト

第一階層	第二階層	説明
音楽	ファイル検索	再生したい音楽ファイルを、曲名順に検索できます。（→P.59）
	プレイモード	音楽ファイルのプレイモードを、オール/1曲リピート/リピートオール/シャッフル&リピート/リピートフォルダ/シャッフル&リピートフォルダから選択できます。（→P.59）
	再生速度	MP3形式の音楽ファイルの再生速度を0.67倍、0.8倍、1.0倍、1.14倍、1.33倍から選択できます。（→P.60）
	イコライザ	音楽ファイルのイコライザを、ノーマル/ポップ/ロック/クラシック/ジャズ/ベースから選択できます。（→P.61）
ボイス	ファイル検索	再生したい音声ファイルを検索できます。（→P.62）
	録音音質	録音する音声ファイルの音質を低/中/高から選択できます。（→P.62）
	再生速度	WAV形式の音声ファイルの再生速度を0.67倍、0.8倍、1.0倍、1.14倍、1.33倍から選択できます。（→P.63）
設定	バックライト	バックライトの点灯時間を、常にオン/5秒/10秒/30秒から選択できます。（→P.64）
	オートパワーオフ	オートパワーオフする時間を、オフ/1分/5分/10分から選択できます。（→P.65）
	メニュー言語	表示する言語を選択できます。（→P.65）
消去	－	音楽ファイルや音声ファイルを選択して消去できます。（→P.66）

第一階層	第二階層	説明
システムツール	フォーマット	内蔵メモリを初期化できます。（→P.69）
	ファイルの整理	取り込んだ音楽ファイルをファイル名順に並べ替えます。（→P.73）
	システム情報	メモリの状況や本機のバージョンを確認できます。（→P.76）

【音楽モード、ボイスモード時の画面フロー】

付録

索引

英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

付録

日立家電品についてのご相談や修理は お買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談はエコーセンターへ

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間)9:00〜19:00 (365日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ

TEL 0120-8802-28

FAX 03-3260-9739

(受付時間)9:00〜17:30／携帯、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- 「持込修理」および「商品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

日立リビングサプライホームページ	i.μ's ホームページ
http://www.hitachi-ls.co.jp/	**http://i-muse.jp/**

（ヘ）消耗品を取り替える場合。
（ト）本書のご提示がない場合。
（チ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記載がない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

2. この商品について出張修理をご希望する場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には本書P.106に記載のご相談窓口にご相談ください。
5. お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または本書のご相談窓口にお問合せください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルオーディオプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後3年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

デジタルオーディオプレーヤー保証書　持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

<table>
<tr><td>形名</td><td colspan="2">HMP-X934</td><td>※お買い上げ日
平成　年　月　日</td><td>保証期間
本体：1 年</td></tr>
<tr><td rowspan="2">※お客様</td><td>ご住所</td><td colspan="3">〒　－</td></tr>
<tr><td>ご芳名</td><td colspan="3">様</td></tr>
<tr><td rowspan="2">※販売店</td><td>住所</td><td colspan="3">〒　－</td></tr>
<tr><td>店名</td><td colspan="3">TEL</td></tr>
</table>

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
   （ニ）車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
   （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用）に使用されて生じた故障または損傷。

（裏面に続く）

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814　東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL.03(3260)9611　　FAX.03(3260)9739